

# ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 Tel. 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

## PTAさん 海賊イベント ありがとう！

校長 吉田 直美

9月4日（月）の5時間目、PTAの皆さんの全面協力のもと、謎解きイベントを実施しました。保護者と学校がタッグを組んで、しかも大人が海賊になりきって学校丸ごと遊びを通して学ぶ場にするのは初めての試みです。そもそも事の発端は、「夏休み明け二日目の6時間授業がどの子も辛そうだ」という職員の声から、「休み明けは学校の生活リズムに乗れない子たちもいるかもしれない。子どもたちが学校に来るのを楽しみにしてくれるような時間があると、長期休業明けの子どもたちにとって良いのではないか」という考えに発展し、昨年度子どもたちのためにPTA主催で実施した謎解きイベントを、今年度はこの時期にやっていただけないかと相談し、快諾いただいた次第です。その後、日程調整等の相談をしながら当日を迎えました。当日は、校長、教頭、担任等が海賊の衣装とメイクで大変身。子どもたちに「海賊仲間になるために謎解きにチャレンジしよう！」と呼びかけ、ぼかぼかグループ（異学年少人数グループ）ごとに様々な謎解きにチャレンジ。各部屋で海賊達から出されたミッションをクリアしていき、最後にキーワード完成。体育館に戻り、海賊ルフィ（教頭が変身しています）にキーワードを伝えてゴールとなりました。完成したキーワードは「いのち はなまる」となっており、PTAさんの心遣いを嬉しく感じました。

ミッションクリアの記念にPTAさん手作りのステッカーを何百枚も用意してくださいました。子どもたちに喜んでもらいたいと準備して下さったその気持ちを、子どもたちもしっかりと理解してほしいと願っています。

放課後の職員室で「あああ、楽しかった！」「いやあ、おまつりみたいでしたね」と職員の声。保護者の1割以上の方がボランティアとして協力してくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。PTAの皆さん、ありがとうございました。

## 課題もあります

上記の海賊イベントでは、課題もありました。

PTAの方が数か月かけて計画準備して下さった子どもたちのためのイベント。数百枚のステッカーを大事に持ち帰り、家で話題にすることで、学校の様子が垣間見えるところですが、残念ながら……。そのステッカーを学校で捨てた子もいたのです。担任が「本当に悲しい気持ちになったし残念で仕方がない」と肩を落として話すのを聞き、学校教育家庭教育でやるべきことはまだまだたくさんあると、痛感しました。準備して下さった方の立場になって、その気持ちを考える、想像する、感謝するといった「相手を大切に作る心」は一朝一夕では育ちません。今回新しい取り組みに保護者と学校が手を結んで挑戦したことで子供の心を耕すといういい機会が得られました。「ありがとう」とか「お世話になりました」とか「助かりました」などの言葉がふさわしい場面は、生活の場でたくさんあります。「相手の立場になって考える」というコミュニケーション力を学校でも家庭でも、身につけていきたいものです。